

マテリアルズ・インフォマティクスが誰でもわかる 「MI リテラシー講座」を起点とした MI 導入支援サービスを DX 推進サポートの STANDARD が提供開始

【業界初（*1）】教育からインフラ構築、成果創出まで一気通貫した MI 内製支援で
企業に伴走

大手企業を中心に 650 社以上のデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）の推進と内製化を支援する株式会社 STANDARD（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：櫛野恭生、以下「当社」）は、業界初（*1）マテリアルズ・インフォマティクス（*2）（以下「MI」）の教育サービス「MI リテラシー講座」を起点とした MI 導入支援サービスの提供を開始いたしました。DX 推進の中でも MI に特化して、社内教育から伴走し、さらにインフラ構築まで一気通貫したサービスを提供することで、研究開発においてグローバル競争力の強化に挑戦する企業を支援してまいります。

既に東証プライム上場の大手総合ガス企業様にトライアルでの導入を頂いております。同社様では MI プロジェクトを推進中ですが、MI リテラシー講座による教育を足掛かりとして、全社的に MI を本格的に推進することを見据えております。

MIリテラシー講座

Eラーニング形式の受講形態

動画でわかりやすい

復習用PDFテキスト

スマートフォンでも視聴可能

※1.25倍、1.5倍、2.0倍より選択

※商品仕様は今後変更となる場合もございます。

章構成

1. 近年のデジタル革新	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル技術の進歩 ✓ 直近20年の環境変化 ✓ AIの登場 ✓ 様々な分野へのAI活用
2. MIの定義と目的意義	<ul style="list-style-type: none"> ✓ DXとは何か？ ✓ デジタル技術で付加価値を与える範囲・文化を作り続ける ✓ R&D領域におけるDXの全体像 ✓ MIとは ✓ 材料開発手法の変遷（第4の科学） ✓ これからの材料化学 ✓ 材料探索におけるMIの活用方向性 ✓ MI導入のメリット ✓ MIの対象となる材料の特徴
3. MIの先進事例	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新超電導物質の発見 ✓ フィルム開発期間の大幅短縮 ✓ 耐久性ポリマーのモノマー組成比探索 ✓ 自動車用ガラスコーティング剤の開発 ✓ 電池材料の組成最適化
4. 基礎的な技術アプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 材料物質の顕微鏡化/データ化 ✓ 微全学習モデルの選定 ✓ 事例1 スパースモデリングを用いた材料探索 ✓ 事例2 転移学習を用いた材料探索 ✓ SVRを用いた実験計画
5. MI導入の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ✓ よくある失敗例 ✓ 進め方の全体像と成功要因 ✓ Phase1 目的の明確化/共通認識醸成 ✓ Phase2 信頼可能な仕組みの構築 ✓ Phase3 MI実装と評価PDCA

※章構成は今後変更となる場合もございます。

Copyright © 2022 株式会社STANDARD All Rights Reserved.

■新サービス「MI リテラシー講座」について

本サービスは、MI に関する基礎的な知識や事例から導入方法まで学んでいただける e ラーニングです。MI は、第 4 の科学と呼ばれる「データ科学」に相当する材料開発手法で、政府の「マテリアル革新力強化戦略（*3）」においても、重要な基幹技術の一つに位置付けられています。長年に亘り培われた理論科学、計算科学、実験科学へ、新たに MI を合わせて活用することで、より効率的な材料探索の実現が可能となります。MI によって、材料品質の向上、開発リードタイムの短縮、また、一定レベルの属人性の排除が期待できます。

一方で、「基礎知識が足りず、また全体像を把握しないまま、MI のプロジェクトが先行してしまい、うまく推進できていない」や、「本格的に推進するためにはデータ整備等、全社を巻き込む必要があるが、巻き込めず、局所的なプロジェクトに留まっている」等の課題があります。

これらの課題を解決するために、本講座は研究開発者だけでなく、MI に詳しくない方でも専門知識を網羅的に学習できるように設計しているため、これから MI 導入を検討している企業や、本格的に MI を推進するために全社を巻き込もうとする企業にとって最適な内容となっています。

■ MI 導入支援サービスについて

MI 導入支援サービスには「MI リテラシー講座」受講以降も、MI の成果創出に向けた一気通貫のサービスをご用意しており、企業の課題や現状に合わせてカスタマイズして柔軟にご支援することが可能です。

MI導入支援サービスでできること

新たな組織・文化を醸成し、ヒト組織を巻き込むことで、MIによる成果の最大化が可能



Copyright © 2022 株式会社STANDARD All Rights Reserved.

・Phase 1 : 「MI リテラシー講座」を通したリテラシー教育・学習と意識醸成による、目的の明確化/共通認識化

・Phase 2 : 情報の一元管理、インフラ整備、業務プロセス最適化による、持続可能な仕組み構築

・Phase 3 : PoC/技術検証、本格導入、評価と PDCA による成果創出

e ラーニング形式の受講形態をとった MI 教育コンテンツを起点とした MI 導入における各フェーズを支えるサービスを網羅して提供する企業は、現時点では当社以外に見受けられません。DX 推進において 650 社以上の企業を教育から開発支援までサポートした実績を有し、MI のスペシャリストを抱える当

社だからこそ、MI においてもヒト組織を巻き込みながら一気通貫した支援を提供する唯一の企業（*1）として、製造業界をはじめとする様々な企業に伴走してまいります。

サービス資料ダウンロード URL : <https://go.standard-dx.com/mi-literacy-doc>

*1 当社調べ、2022 年 10 月 30 日時点のデスクリサーチ「ヒト組織を巻き込み MI 導入における各フェーズを支えるサービスを網羅して提供する企業」として業界初

*2 マテリアルズ・インフォマティクス（MI）とは、情報科学（インフォマティクス）を応用して材料（マテリアルズ）の探索・開発を行う取り組みのこと。材料開発の期間短縮とコスト削減が期待される。

*3 マテリアル革新力強化戦略 <https://www8.cao.go.jp/cstp/material/material.html>
文部科学省及び経済産業省は、「マテリアル革新力強化のための戦略策定に向けた準備会合」を設置し、令和 2 年 6 月に「マテリアル革新力強化のための政府戦略策定に向けて」を策定。令和 2 年 7 月に閣議決定された、「統合イノベーション戦略 2020」において、「マテリアル革新力」を強化するための政府戦略を策定することが決定されたことを受け、準備会合の提言を踏まえ、「マテリアル革新力強化戦略」が策定。

■ DX 推進サポートとは

企業が DX 推進を行う際にぶつかる 3 つの壁を「アイデアの壁」「投資判断の壁」「技術開発の壁」に対して、その解決策となる「DX 人材育成」「戦略コンサルティング」「技術開発支援」の一気通貫したサービスを、企業が置かれている状況や課題に応じて、最適な形でご提案・ご提供しています。

■ 株式会社 STANDARD について

STANDARD は「ヒト起点のデジタル変革を STANDARD にする」をミッションとし、DX 人材育成・戦略コンサルティング・AI 実装支援の 3 つのサービスを提供し、これまでに 650 社以上の DX 推進の内製化を支援しています。教育による組織・ヒトの変革をはじめに、1,200 人超のエンジニアを輩出する「東大人工知能開発団体 HAIT Lab」や大手コンサルティングファーム出身者、起業経験者によるアジャイルの開発アプローチにより、半年～1 年という短期間で DX の成果創出、収益化までを実現します。

公式サイト : <https://standard-dx.com/>

DX 推進を成功させるためには「3つの壁」を乗り越える必要がある。
STANDARD は、DX 人材を起点として、その壁を乗り越えるワンストップサービスを提供。



【サービスに関するお問い合わせ先】
<https://standard-dx.com/contact>